

もののれ〜る^{37号}



平成 25 年 7 月 発行

ご意見・ご感想をお寄せください。

発行 武蔵村山市都市整備部多摩都市モノレール推進担当

Tel 042-565-1111(内線 272)/Fax 042-566-4493/E-mail tamamono@city.musashimurayama.lg.jp

モノレール延伸を願う懸垂幕の

キャッチフレーズ



市役所市民駐車場のホースタワーに掲げられている懸垂幕には、多摩都市モノレールの市内早期延伸を願うキャッチフレーズが標記されています。

今年度、新たに懸垂幕を作製するに当たり、市民の皆さまからキャッチフレーズを募集します。

皆さまのモノレール延伸に対する想いをキャッチフレーズに込めて、ぜひご応募ください。

応募条件



(参考) 現在の懸垂幕

- 応募できるのは、市民（在勤、在学を含む）の方です。
- 多摩都市モノレール早期延伸を願う気持ちを込めたキャッチフレーズであり、約15文字とします。
- 懸垂幕には、選定されたキャッチフレーズ以外に「武蔵村山市・武蔵村山市議会」の文字が入ります。

応募方法

- 応募用紙に必要事項を明記の上、市役所多摩都市モノレール推進担当（都市計画課）に直接持参していただくか、下記提出先まで郵送、FAX、Eメール又は市ホームページの応募フォームでご応募ください。
- 応募用紙は、市役所多摩都市モノレール推進担当、市政情報コーナーほか市内公共施設に置いてあります。市ホームページからもダウンロードできます。

選考方法

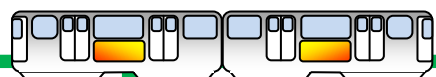
選定委員会で選考します。

結果は、市報、ホームページ等でお知らせします。

* 決定したキャッチフレーズに関する一切の権利は市に帰属します。

申込締切

平成25年**7月31日(水)** *当日消印有効



延伸に向けた主な課題を考える

1 連載

多摩都市モノレール延伸に向けた課題として

- 1 多摩都市モノレール株式会社の経営の安定化
- 2 延伸区間沿道の土地区画整理事業やまちづくりの推進
- 3 新青梅街道拡幅整備事業との関係 が、考えられます。

37号では、「1 多摩都市モノレール株式会社（モノ楸）の経営の安定化」について考えます。

延伸区間の整備主体は正式には決まっていますが、営業区間を例にとると、配電設備等の整備や車両の購入などはモノ楸が行うと考えられます。

現在、モノ楸は、4期連続で黒字を計上し経営状況は好転していますが、今後、施設改修等の費用が必要となることから、経営の安定化のためには、モノレールの利用者を増やし、収入を増やすことが重要となります。

収益が見込めない（乗る人がいない。）路線では、誰も延伸しようとは思わないでしょう。つまり、延伸の実現のためには、モノ楸がこの先もずっと黒字であり続ける見込が必要です。

つまり、延伸実現のために・・・まずは、**モノレールに乗りましょう。**

さらに、市外の人が武蔵村山市に来るためにモノレールを使ってもらうことが大切です。

では、どうしたら市外の人に来るでしょう？

武蔵村山市が魅力のある「まち」であることを、広く知らせる必要があります。

これは、市役所（行政）だけでできることではありません。武蔵村山に住む一人一人の力が必要となってきます。

自分の住む「まち」のいいところを、多くの人に伝え、気持ちを動かすには口コミが一番です。市民一人が市外の人 2 人に村山を宣伝したら・・・その 2 人がまたそれぞれ 2 人に宣伝したら・・・すごい PR 効果だと思いませんか？

村山に来るときには、**モノレールに乗ってね！**



モノレール？



モノレール？



モノレール？



そうだ！モノレールに乗ろう！

他の課題については、また次号で。

延伸に向けた現状や課題については、パンフレット「みんなの願い！多摩都市モノレール延伸！！」をご覧ください。パンフレットは、都市計画課窓口や市内公共施設においてあるほか、市ホームページからダウンロードできます。